

## 2015年度目録委員会記録 No.2

### 第2回委員会

日時：2015年5月16日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、河野、田代、津田、野美山、平田、古川、村上、横山  
<事務局>磯部

#### [配布資料]

1. 「国際目録原則」WWR案に関するメモ（4ページ-A4、渡邊委員長）
2. 第3部 関連 第41章 関連総則（2015.5案）（2ページ-A4、渡邊委員長）
3. 表現形の全体構成における出版等、キャリアに関する事項の構成について（NDL資料）（3ページ-A4、田代委員）
4. 第II部 資料に関する記録 ユニットG 出版等に関する記録（42ページ-A4、横山委員）
5. 出版年に関する意見（1ページ-A4、横山委員）
6. 第III部 ユニットO 場所に関する典拠形アクセス・ポイント（12ページ-A4、村上委員）
7. 関連指示子と異形アクセス・ポイントに関するメモ（4ページ-A4、古川委員）
8. 第II部 ユニットK-L タイトル・責任表示（下位レベル）（骨子）（2ページ-A4、古川委員）
9. 第IV部 D.0～.2 資料と個人・家族・団体との関連（第1次案）（11ページ-A4、古川委員）
10. #5 ユニットX 表現形（賞）（1ページ-A4、野美山委員）
11. #5.X.10 表現形（画面アスペクト比）（2ページ-A4、木下委員）
12. #5.X.16 表現形（尺度）（10ページ-A4、木下委員）
13. 第IV部 ユニットB 資料に関する主要な関連（4ページ-A4、平田委員）
14. 2015年度第1回目録委員会記録（5ページ-A4）

#### [報告事項ほか]

#### 議事録の確認

2015年度第1回目録委員会記録（資料14）について確認した。

1. 各委員への委嘱状について  
他の委員会と同時に一斉送付を行う。6月中旬過ぎになるので、委嘱状の事項で変更がある委員は申し出ること。
2. 全国図書館大会について

今年度は10月開催される予定。分類委員会が分科会を開催する予定となっている。

### 3. 次回委員会の予定について

- ・「タイトル」「責任表示」「版表示」「順序表示」のNDL条文案について、集中審議する。

#### [検討事項]

#### 1. 「国際目録原則」ワールドワイド・レビュー案へのコメントについて

資料1を確認し、委員会としてコメントの送付を行うこととした。

#### 2. 体现形の全体構成における出版等、キャリアに関する事項の構成について

田代委員による資料3に基づき、説明と検討を行った。

- ・出版等（NDL未受領なので想定とする）とキャリアに関する事項について、エレメントをグループ化した構成をとることによって問題が生じており、構成案1（各グループの通則とグループ内のエレメントとを同じ高さで並列する条項番号の構成）と構成案2（各グループの通則の下にグループ内のエレメントを置く条項番号の構成）の2つの案が現在NDLで検討されている。
- ・NDLは、情報源等の規定を繰り返す煩雑さを避けることを目的に通則を設けている。この繰り返しを許容し、通則を設けないという案は、NDLでは検討はされていない。
- ・#2.5 出版に関する事項は通則を設けず、中間見出しでグループ化を示すこととする。
- ・キャリアに関する事項は構成案1を採用することとする。構成案2は特に、グループの通則そのものがエレメント、その下にあるグループ内の各エレメントがサブタイプあるいはエレメント・サブタイプと見えてしまう欠陥があるため、これを採らない。
- ・第2章のキャリアに関する事項を分離し、第2章A・Bまたは第2章・同Aに2分割することも考えられるのではないか。

#### 3. 第II部 資料に関する記録 ユニットG 出版等に関する記録

横山委員による資料4に基づき、説明と検討を行った。

- ・2015年4月にRDAで改訂が行われ、頒布表示・製作表示・著作権年がコア・エレメントではなくなった。
- ・G.1.5.2 出版年 記録の方法： 出版年を「西暦年に置き換える」を本則とし、「情報源にある形をそのまま記録」を別法と入れ替えることの検討を行ったが、RDAに準ずる形を原則として、現状のまま「情報源にある形をそのまま記録」を本則とし、和古書、漢籍に関しても特に規定は入れ込まないこととする。
- ・G1.5.2.2 単行資料の特定できない出版年： RDAでは出版年・頒布年・製作年・著作権年はそれぞれ独立したエレメントであり、今回の案もそれに準じている。出版年が特定できない場合に他の種類の年で代用する規定は設けないことを確認した（他の種類の年は、出版年を推定する材料の一つとなる）。出版年が特定できない場合、頒布年「1980」ならば[1980頃]、との意見があった。
- ・出版年月の規定を入れることの検討を行ったが、「出版年」の任意追加で対応する。

#### 4. 第Ⅲ部 ユニット O 場所に関する典拠形アクセス・ポイント

村上委員による資料 6 に基づき、説明と検討を行った。

- ・ O.1.3.1b) : 「管轄権を有する政府の名称」についての例示は現時点では保留とする。
- ・ 例示について原綴形の例示だけではなく、翻字形の例示を追加する。
- ・ O.0.1 記録の目的 : 「識別要素」は他の章で別エレメントとなる要素に用いられているので「名称と識別のための広域地名」もしくは「識別の名称」とする。
- ・ 「この章は～、主題の関連や～については定めない。」の一文は、本文ではなくコメントにして残しておくこととする。
- ・ O.1.4.4E b) : 「上位の地方自治体たとえば (United Kingdom や Great Britain) ～」について、「United Kingdom」と「Great Britain」は地方自治体ではないので、「United Kingdom あるいはイギリスを丸がっこに入れて付加する」とすべきとの意見があった。
- ・ 識別のための広域地名にあたる国名について、英米等を特別とせずに外国に関してはすべて国名を丸がっこに入れて付加する。国名で識別できない場合は州名を入れることとする。ただし、英米等を特別とする別法を設ける。

#### 5. 第Ⅱ部 ユニット K-L タイトル・責任表示 (下位レベル)

古川委員による資料 8 に基づき、説明と検討を行った。

- ・ コア・エレメントに指定できない代わり、記録しやすくするため、下位タイトルを本タイトルに限定し、主要なもののみ記録してもよい、として簡素化を図る。
- ・ 情報源に関し、利便性を重視し、「現 NCR6.7.3.6B の例示」のような演奏時間の情報も必要とするならば、資料全体というより目次等を中心に転記できるような規定にしては、と意見があった。
- ・ 内容細目の例示について、ALA 目録委員会では改行方式と ISBD 区切り記号方式の 2 種類の例示を挙げてはどうかと議論されている。

#### 6. 第Ⅳ部 ユニット B 資料に関する主要な関連

平田委員による資料 13 に基づき、説明と検討を行った。

- ・ 「表現」は表現形を想起させてしまうので「記録の方法」とし、「選定」を「記録の範囲」とする。
- ・ 情報源は、関連総則で取り上げることとし、個別の章には入れないこととする。

#### 7. 関連指示子と異形アクセス・ポイント

古川委員による資料 7 に基づき、説明と検討を行った。

- ・ 著作と結び付くその他の個人・家族・団体の関連指示子に、①作成者に仮託された個人・家族・団体、人間以外の実体と、②著作中の個人・家族・団体、人間以外の実体を追加したい。
- ・ RDA19.2.1.3 の例示にある「Kermit, the Frog」や「Snoopy, Dr.」などを上記①または②と判断して関連指示子を付与することは、困難なのではないのかとの意見が出て、追加をするかは保留となった。

## 8. 第IV部 D.0～.2 資料と個人・家族・団体との関連

古川委員による資料 9 に基づき、説明と検討を行った。

- ・「著作と結び付くその他の個人・家族・団体」や、「著作と結び付く作成者以外の個人・家族・団体」などとすると回りくどいので、「非作成者」という語を使いたい。
- ・ #44.0.3.2 関連指示子 : コア・エレメントではないのではないか、との意見が出たが、「#44.1.1 作成者」と「#44.1.2 著作と関連を有する非作成者」が同じエレメントであるならば関連指示子なしでは作成者かどうかの判断がつかないため、「#44.0.3.2 関連指示子」は著作と結びつくものだけをコア・エレメントとし、その他はコア・エレメントとしないとの案も出され、保留となった。

## 9. #5 ユニット X 表現形 (賞)

野美山委員による資料 10 に基づき、確認、検討を行った。

- ・ #5.X.191.3 記録の方法 : 特にルールを定めず適切な形で例示をだすこととする。

## 10. #5.X.10 表現形 (画面アスペクト比)、#5.X.16 表現形 (尺度)

木下委員による資料 11、12 に基づき、確認、検討を行った。

- ・ #5.X.10 表現形 (画面アスペクト比) を「画面アスペクト比」もしくは「画面縦横比」にするか保留とする。
- ・ X.10.3 画面アスペクト比の記録 : 日本語の用語を検討中。

次回以降の委員会の予定

6月13日(土)

7月11日(土)

以上